



発行 広島県ハンドボール協会  
 発行人 山本 一  
 〒731-0192  
 広島市安佐南区祇園5丁目37-1  
 広島経済大学務センター教務課内  
 Tel 082-871-1001(内線312)  
 Fax 082-871-1666  
 E-mail: os-taka@hue.ac.jp

中国高校選手権は5月7、8日に岡山県体育館（桃太郎アリーナ）で開かれ、広島勢は男子・城北のベスト8が最高の成績だった。

男女各3校が出場したが、男子の祇園北、広、女子の賀茂、三津田、祇園北はいずれも初戦突破はならなかった。惜しまれたのは男子の祇園北。前半を1点リードで終えたが、後半、境港総合技術の反撃を許し、1点差の逆転負けとなった。

優勝は男子が下松工で5年ぶり15度目、女子は華陵が3年連続9度目。

山口国体へ向けて代表権獲得に一段の強化が望まれる結果になった。

### 中国高校選手権

## 城北の8強最高

#### 《中国高校選手権 成績》

##### 【男子】

▽1回戦  
 下松工 23 (11-5, 12-8) 13 東岡山工  
 城北 28 (16-9, 12-8) 17 米子東  
 岩国 24 (13-4, 11-9) 13 境  
 岡山理大付 26 (7-9, 10-8)

5-2, 4-0) 19 松江工  
 境港総合技術 18 (7-8, 11-9) 17 祇園北  
 玉野光南 19 (8-6, 11-5) 11 松江南  
 岩国工 27 (14-2, 13-4) 6 広  
 総社 36 (17-3, 19-3) 6 飯南

▽準々決勝  
 下松工 27 (10-5, 17-4) 9 城北  
 岩国 22 (7-8, 15-11) 19 岡山理大付  
 境港総合技術 22 (11-10, 11-11) 21 玉野光南  
 総社 22 (11-6, 11-10) 16 岩国工

▽準決勝  
 下松工 22 (9-4, 13-8) 12 岩国  
 総社 21 (8-5, 13-5) 10 境港総合技術

▽決勝  
 下松工 13 (5-7, 8-4) 11 総社

##### 【女子】

▽1回戦  
 華陵 36 (18-3, 18-1) 4 松江市女  
 落合・真庭 13 (4-3, 9-4) 7 三津田  
 江津 17 (11-8, 6-4) 12 賀茂  
 倉敷天城 17 (10-3, 7-9) 12 境  
 松江南 17 (7-5, 10-9) 14 倉敷中央  
 高水 33 (19-5, 14-7) 12 倉吉西  
 米子東 24 (12-4, 12-5) 9 祇園北  
 操山 19 (9-9, 10-9) 18 徳山

▽準々決勝  
 華陵 36 (23-1, 13-1) 2 落合・真庭  
 倉敷天城 29 (12-3, 17-5) 8 江津  
 高水 25 (13-3, 12-9) 12 松江南  
 操山 27 (15-4, 12-3) 7 米子東

▽準決勝  
 華陵 40 (23-2, 17-5) 7 倉敷天城  
 高水 24 (12-9, 12-8) 17 操山

▽決勝  
 華陵 23 (16-2, 7-10) 12 高水

## 湧永新監督に玉村氏



### 「4冠狙う」でっかい抱負

#### ■湧永製薬スタッフ■

- ・オーナー 草井 由博 (留任)
- ・部長 岡 孝紀 (新任)
- ・副部長 長澤 純平 (留任)
- ・監督 玉村 健次 (新任)
- ・コーチ 古家 雅之 (留任)
- 松村 昌幸 (新任)
- ・主将 東長 濱秀作 (新任)
- ・主務 山中 基 (留任)

湧永製薬の新監督にエースとして黄金期を築いた玉村健次氏(50)が決まった。14代目(13人)

玉村新監督は1985年に教員から転向した異色のルーキーとして入社。10年間にわたってプレー。日本リーグでMVP、得点王各3度、ベストセブン6度を受賞するなど活躍。チーム2度目のグランドスラムなど20回におよぶ優勝に貢献する

など貢献した。

日本代表としては88年のソウル五輪、90年の世界選手権(チェコ)やソウル、北京アジア大会に出場した。また指導者としては95年からU-19、23日本代表コーチのあと00年から6年間U-21日本代表監督を務めた。

会見で指揮官は「創設者の儀助元社長の遺志を引き継ぎ、4冠を目標に意気込みを見せたい」と力強い言葉ででっかい抱負を話した。



### 「1つはタイトルを」 メイプル 呉成玉が決意

メイプルレッズの呉成玉新監督が就任会見を行い、シーズンに臨む決意を披露した。

オリンピックに5度出場するなど世界を知り尽くし、メイプルレッズの黄金時代を支えてきた指揮官は「厳しさを前面に打ち出す。今シーズンは最低でも一つはタイトルを奪いたい」ときっぱりと目標を掲げた。

初さい配は7月、北海道・函館での全日本社会人選手権(全日本実業団選手権を模様替え)となる。

《たまむら・けんじ》1961年1月16日、大阪市生まれの50歳。大阪商高(現大商学園高)から大阪体大、奈良県教員を経て1985年湧永製薬入社。10シーズン活躍した。日本リーグでは最高殊勲選手賞、得点王各3度、ベストセブンに6度選ばれた。通算得点は歴代14位の601得点。日本代表としては大阪体大2年での世界選手権に出場した。

また、指導者としてはU-19・23代表コーチのあと2000年から06年3月までU-21代表監督を務めた。そのほか85年11月からは1シーズン西ドイツ留学(当時)99年にはスウェーデンにJOC海外研修員として留学、指導法を学んだ。



# ジャパンオープン日新製鋼出場

## 《ジャパンオープントーナメント中国予選》

### 【男子】

▽1回戦  
 HC岡山 35 (18-11, 17-8) 19 マツダ  
 徳山ク 34 (18-13, 16-18) 31 安芸高田HC  
 日新製鋼 26 (13-7, 13-13) 20 トクヤマ  
 HC山口 43 (21-7, 22-2) 9 Ost-bitte

▽準決勝  
 HC岡山 28 (14-9, 14-16) 25 徳山ク  
 HC山口 32 (18-7, 14-8) 15 日新製鋼

▽3位決定戦  
 徳山ク 28 (15-12, 13-11) 23 日新製鋼

▽決勝  
 HC山口 29 (12-11, 17-10) 21 HC岡山

### 《全国クラブ選手権西地区大会中国予選》

▽男子リーグ戦  
 下松ク 23 (10-11, 13-9) 20 AWC  
 総社ク 34 (17-7, 17-10) 17 弓ヶ浜ク  
 下松ク 24 (9-9, 15-5) 14 弓ヶ浜ク  
 総社ク 33 (13-11, 20-14) 25 AWC  
 弓ヶ浜ク 27 (13-8, 14-10) 18 AWC  
 総社ク 25 (11-11, 14-7) 18 下松ク

※順位 ①総社ク3勝②下松ク2勝1敗③弓ヶ浜ク1勝2敗④AWC3敗

### 《女子ジャパンオープン兼全国クラブ中国予選》

▽リーグ戦  
 HC岡山 28 (17-6, 11-13) 19 Orange bird  
 徳山ク 36 (21-5, 15-5) 10 Orange bird  
 徳山ク 44 (22-6, 22-6) 12 HC岡山

※順位 ①徳山ク2勝②HC岡山1勝1敗③Orange Bird 2敗

## 中国予選

ジャパンオープントーナメント、全国クラブ選手権西地区大会の中国予選が5月14、15の両日、日新製鋼呉体育館と呉市体育館で開かれ、ジャパンオープンで日新製鋼が4位に入り、本大会に出場する。

ジャパンオープンには広島から日新製鋼のほか安芸高田HC、マツダ、全国クラブにはAWCが出場した。安芸高田HC、マツダはともに1回戦敗退、AWCはリーグ戦を3戦全敗の4位。

ジャパンオープンには男子が上位4チーム、女子は徳山クラブが8月6日から岐阜県での本大会へ、全国クラブには男子が上位2クラブ、女子はHC岡山が7月16日から静岡県での本大会に臨む。

## 《中四国学生選手権春季リーグ 成績》

### 【男子】

※1部  
 高松大 32 (18-7, 14-8) 15 広島大  
 岡山大 20 (11-10, 9-8) 18 徳島大  
 松山大 29 (18-5, 11-11) 16 島根大  
 高松大 35 (16-6, 19-7) 13 鳥根大  
 岡山大 23 (16-10, 7-11) 21 松山山  
 松山大 23 (13-7, 10-11) 18 島根大  
 高松大 32 (14-5, 18-10) 15 松山山  
 広島大 20 (11-7, 9-12) 19 岡山山  
 広島大 21 (10-7, 11-11) 18 島根大  
 高松大 26 (11-8, 15-7) 15 広島大  
 岡山大 23 (13-7, 10-9) 16 島根大  
 岡山大 29 (17-3, 12-13) 16 島根大  
 高松大 28 (17-7, 11-12) 19 岡山山  
 広島大 24 (14-9, 10-14) 23 島根大  
 松山大 25 (12-8, 13-8) 16 広島大

※順位 ①高松大5勝②岡山大3勝2敗③松山山3勝2敗④広島大3勝2敗⑤広島大1勝4敗⑥島根大5敗(2-4位は得失点差による)

※2部  
 愛媛大 31 (15-5, 16-7) 12 広島大  
 環太平洋大 36 (20-9, 16-9) 18 徳島大  
 香川大 24 (13-10, 11-8) 18 山口大  
 愛媛大 27 (13-13, 14-14) 27 山口大  
 環太平洋大 28 (15-6, 13-11) 17 山口大  
 香川大 33 (14-12, 19-7) 19 愛媛大  
 山口大 25 (11-10, 14-9) 19 愛媛大  
 環太平洋大 38 (18-11, 20-7) 18 香川大  
 徳島大 31 (16-6, 15-9) 15 愛媛大  
 香川大 24 (13-8, 11-11) 19 愛媛大  
 環太平洋大 45 (22-3, 23-7) 10 広島大  
 山口大 18 (10-8, 8-8) 16 徳島大  
 山口大 18 (11-3, 7-7) 10 徳島大  
 香川大 25 (10-5, 15-10) 15 徳島大  
 環太平洋大 31 (14-4, 17-5) 9 愛媛大

※順位 ①環太平洋大5勝②香川大4勝1敗③山口大3勝2敗④徳島大1勝3敗⑤愛媛大1勝3敗⑥広島大5敗(4、5位は得失点差による)

※インカレ出場決定戦  
 環太平洋大 24 (10-7, 14-4) 11 広島大

※3部X  
 修道大 23 (11-8, 12-8) 16 川崎医福大  
 川崎医福大 22 (6-5, 16-7) 12 鳴門教大  
 修道大 33 (15-5, 18-5) 10 鳴門教大

※順位 ①修道大2勝②川崎医療福祉大1勝1敗③鳴門教大2敗

※3部Y  
 高知大 40 (20-11, 20-11) 22 下関市大  
 下関市大 32 (17-13, 15-7) 20 尾道大  
 高知大 36 (16-13, 20-12) 25 尾道大

※順位 ①高知大2勝②下関市大1勝1敗③尾道大2敗

※3部1、2位決定戦  
 高知大 30 (15-8, 15-7) 15 修道大

※3部3、4位決定戦  
 下関市大 25 (12-10, 13-14) 24 川崎医福大

※3部5、6位決定戦  
 尾道大 21 (10-11, 11-9) 20 鳴門教大

【女子】

※1部  
 環太平洋大 43 (22-1, 21-6) 7 鳴門教大  
 愛媛女短大 25 (12-5, 13-7) 12 愛媛大  
 愛媛女短大 24 (11-6, 13-4) 10 鳴門教大  
 環太平洋大 28 (13-5, 15-4) 9 岡山山  
 愛媛大 24 (11-5, 13-2) 7 鳴門教大  
 環太平洋大 30 (16-4, 14-8) 12 愛媛大  
 愛媛女短大 18 (8-7, 10-6) 13 岡山山  
 岡山山 24 (12-5, 12-4) 9 鳴門教大  
 環太平洋大 23 (11-9, 12-8) 17 愛媛女短大  
 愛媛大 19 (8-8, 11-9) 17 岡山山

※順位 ①環太平洋大4勝②愛媛女短大3勝1敗③愛媛大2勝2敗④岡山山1勝3敗⑤鳴門教大4敗

※2部  
 松山大 28 (16-7, 12-7) 14 広島大  
 香川大 26 (12-3, 14-5) 8 徳島大  
 香川大 36 (17-6, 19-6) 12 川崎医福大  
 松山大 48 (26-1, 22-1) 2 徳島大  
 広島大 17 (7-3, 10-4) 7 徳島大  
 松山大 32 (13-6, 19-1) 7 川崎医福大  
 香川大 17 (6-6, 11-7) 13 広島大  
 川崎医福大 28 (10-2, 18-4) 6 徳島大  
 松山大 29 (13-2, 16-3) 5 香川大  
 川崎医福大 16 (8-6, 8-5) 11 広島大

※順位 ①松山大4勝②香川大3勝1敗③川崎医療福祉大2勝2敗④広島大1勝3敗⑤徳島大4敗

### 【得点王】

《男子》1部 庄野僚志(岡山山) 渡辺勇志(島根大) 32点▽2部 西吉亮二(香川大) 45点▽3部 鍋島司(高知大) 34点

《女子》1部 横嶋彩(環太平洋大) 21点▽2部 柳田茂由子(松山大) 45点

## 中四国学生春季リーグ

中四国学生選手権春季リーグ戦は5月2日から5日間、愛媛県総合運動公園体育館で開かれた。男子1部の広経大は得失点差で劣り、岡山山、松山大に続き4位となったが、西日本インカレ出場を決め、木村敏也がベストセブンに選ばれた。

男子の1部では高松大が連勝を「49」に伸ばし、12シーズン連続12度目の優勝。女子は環太平洋大が4戦全勝で4シーズン連続4度目の女王の座に就いた。

広島勢では男子では1部の広島大が5位、2部の広島大が6位、3部の修道大は2位、尾道大は5位。女子は2部の広島大は4位だった。

西日本インカレには男子は1部4位までと出場決定戦で広島大を下した環太平洋大、女子は1部上位2校が出場する。ベストレフイー賞は中島康貴・松岡和幸(環太平洋大)が受賞した。

## 広経大4位 男子1部

### 《個人表彰》

#### ■最優秀選手賞■

※男子  
 ▽1部 長谷川雄真(高松大)  
 ▽2部 田中秀弥(環太平洋大)  
 ▽3部 鍋島司(高知大)

※女子  
 ▽1部 横嶋彩(環太平洋大)  
 ▽2部 世良莉子(松山大)

#### ■ベストセブン

※男子  
 ▽GK 玉城亮大(高松大)  
 ▽CP 中村俊一郎(高松大)  
 津久田幸輔(高松大)  
 千葉かいき(高松大)  
 庄野僚志(岡山山大)  
 中田圭祐(松山大)  
 木村敏也(広経大)

※女子  
 ▽GK 愛久澤沙絢(環太平洋大)  
 ▽CP 高橋葵(環太平洋大)  
 中山明美(環太平洋大)  
 老古侑香(環太平洋大)  
 比嘉美咲希(愛媛女短大)  
 山田恵美香(愛媛女短大)  
 曾根梢(愛媛大)

## FF 市民と触れ合う

5月のフラワーフェスティバルに湧製製菓、メイプルレッズが参加、パレードや花の塔そばのトップスプーズで多くの市民と触れ合い、なごやかなひとときを過ごした。4日にはストリート陸上のトークショーに登場、しっかりとハンドボールのPR大使を務めた。

ブースそばでは的当てゲームを行い、ちびっこから大人まで汗いっぴいの挑戦が続いた。



■お願い■ 「ひろしまハンドボール」はお陰様で81号を迎えました。皆様のご協力あってのことと感謝しております。さらに充実させるため、ハンドボール関係者、愛好者からの情報提供は欠かせません。なんでも大歓迎です。試合結果だけでなく、イベントなどの話題でも結構です。どしどしお便りをお寄せください。お待ちしております。